

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1061 号	氏名	Nguyen Hai Tuan
学位審査委員	主査 西田 教行 副査 中山 浩次 副査 長谷部 太		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、コレラ菌 (<i>Vibrio cholerae</i>) の遺伝子上に組み込まれたモバイルエレメントの変化を解析し、第7次コレラパンデミックにおけるコレラ菌の変遷との関連を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 1961年以降の第7次パンデミックの第1波、第2波、第3波のそれぞれの流行株をアジア諸国、アフリカ諸国から収集し、全ゲノム解析を行い、系統分類後、モバイルエレメントに注目して解析を行なっている。この種の研究成果を左右すると考えられる種々の標本選択バイアスを考慮しつつ、統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、<i>Vibrio seventh pandemic island (VSP)-II</i> の変化および、VSP-II 挿入部位の左側アタッチメント配列 (<i>attL</i>) の変化がみられることを明らかにし、第1波、第2波、第3波と多様性が減少していることから、淘汰の可能性が考えられた。今後のコレラパンデミックの分子疫学的研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は分子疫学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			